

事務事業名	白根保育所子育て支援事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5353			
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	白根保育所		課長名	杉山直樹			
			所属担当	白根保育所		担当者名	杉山直樹			
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	17	社会福祉の充実	01	一般	03	02	04	060	08	
施策	28	児童福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)		法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容:・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 ( 24年度 決算見込 )						
	家庭における保育を支援し、児童の福祉の増進を図る。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
	育児ストレスなどに悩む親のために、親が「コンサートやボランティア活動に行きたい、リフレッシュしたい」などの用事があるときに子どもを預かってもらうなど、私的なニーズにも応えている。保護者の精神的なストレスも見逃さない社会問題となっており、保護者が健全な精神を持つことも合わせもつ。			消耗品	120					
				原材料費	252					
						計	372			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績	利用者の増 延べ利用者600人 利用収入1,000千円見込み
	25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内に在住する、保育園に通っていない就学前児童。 1、保護者の就労形態により、家庭における育児が継続的に困難となり、一時的に保育が必要となる児童 2、保護者の傷病、入院等により、緊急・一時的に保育を必要とする児童 3、私的な理由やその他の理由により、一時的に保育が必要となる児童	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	育児ストレスなどに悩む親のために、親が「コンサートやボランティア活動に行きたい、リフレッシュしたい」などの用事があるときに子どもを預かってもらうなど、私的なニーズにも応えている。保護者の精神的なストレスも見逃さない社会問題となっており、保護者が健全な精神を持つことが、幼児教育には重要であり健全な子どもの成長が期待できる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	家庭における保育を支援し、市内の児童の福祉の増進を図ることを目的とする。 ●子どもをもつ世帯(保護者)が、地域の中で子育てをしている ●子どもをもつ世帯(保護者)が、子育ての自覚を持ち自立している ●就学前の乳幼児の子どもが、心身ともに健やかに育つ	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア利用者数	人
	イ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア利用者数	人
	イ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア非提携型	人
	イ緊急型	人
	ウ私的型	人
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア利用者数	人
	イ	

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地芳債	千円								
		その他	千円		300	900	900	900			
		一般財源	千円	0	72	180	180	180			
		事業費計(A)	千円	0	372	1,080	1,080	1,080	0		0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	2			
		延べ業務時間	時間	800	800	800	900	1,000			
		人件費計(B)	千円	3,170	3,170	3,170	3,566	3,962	0		0
		(A)+(B)	千円	3,170	3,542	4,250	4,646	5,042	0		0
	活動指標	ア	人	440.0	440.0	500.0	600.0	700.0			
		イ									
	対象指標	ア	人	440.0	440.0	500.0	600.0	700.0			
		イ									
	成果指標	ア	人	323.0	232.0	500.0	600.0	700.0			
			イ	80.0	80.0	90.0	100.0	110.0			
			ウ	37.0	37.0	40.0	50.0	60.0			
	上位成果指標	ア	人	440.0	440.0	500.0	600.0	700.0			
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成16年度より、家庭における保育を支援し、保護者の緊急避難的な環境を構築し、児童の健全育成を図る。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	・子育てが孤立化し、子育ての不安感、負担感 ・子どもの多様な大人・子どもとの関わりの減
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安悩みを相談できる場を提供

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	住民のニーズに対し、柔軟に対応してゆく。 一時保育事業が予約制となっており、急な利用ができない場合があるので、平日は常時一時保育ができるような体制とした。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	一時保育を実施することにより保護者の子育てで就労を支援し保育に欠ける児童の福祉の向上を図った。また、保育に欠けていない児童に対しても社会的行事時における預かり等を行うことによって、保護者の子育てに対する負

事務事業名	白根保育所子育て支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	白根保育所
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 子育てが孤立化し、子育ての不安感、負担感が増加してきている
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安悩みを相談できる場 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 一時保育を実施することにより保護者の子育てと就労を支援し保育に欠ける児童の福祉の向上が図れる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 保育に欠けていない児童に対しても社会的行事時における預かり等を行うことによって、保護者の子育てに対する負担軽減
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 保護者の子育てと就労を支援し保育に欠ける児童数が年々増加している。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方を見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 児童預かり定員があるので、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 一時保育事業が準予約制となっており、急な利用ができない場合があるので、平日は常時一時保育ができるような体制である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ⑨																					